

## IV 便利な「都」をつくる 13 鉄道整備

### (83) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅と関西空港直結リニア新幹線

これまでは

「奈良市附近」駅を中心とした交通体系についての調査・検討等を行ってきました。

その中で関西国際空港とリニア中央新幹線「奈良市附近」駅をリニア新幹線で直結する構想が浮上しました。



もっと良くするために

「奈良市附近」駅と関西国際空港を直結する「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想を具体化する手法の検討を進めます。

○「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想について調査・検討を実施  
(25百万円)

○関空直結接続新幹線の途中停車駅は、大和高田市、御所市、五條市、橋本市を想定

リニア関空直結新幹線の通路は、リニア中央新幹線の排出土砂を**五條の大規模広域防災拠点に運ぶ新通路の跡の利用**を想定

○本構想実現のため、県庁内県土マネジメント部に「リニア推進・地域交通対策課」を設置します。

令和2年度予算案 25百万円

R2予算案 25,000千円

1. リニア中央新幹線の想定ルートに関する調査・検討

○「奈良市附近」駅の候補地として3市が提案している5箇所をそれぞれ経由するルートを選定し、将来の着工の判断に資する項目について調査・検討を実施

2. 「奈良市附近」駅と関西国際空港を直結するリニア新幹線に関する調査・検討

○ 関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想について調査・検討を実施



「奈良市附近」駅 イメージ図

○「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想について調査・検討するため、県土マネジメント部に「リニア推進・地域交通対策課」を設置

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 地域交通課 人見課長補佐(内線4164)



# IV 便利な「都」をつくる 14 バス輸送環境整備 (85) バス停アメニティ向上・バス輸送サービス改善

これまでは

バスは県民、市民の足であるとともに、観光客の利用もあります。弱いと言われてきた域内輸送サービスの改善が必要です。

○バス停アメニティ向上を図ってきました。  
・バス停上屋21基の整備を支援(H21～H28)

○バスロケ整備を進めてきました。  
奈良交通路線バスの位置情報をGPS方式によりパソコン・スマートフォン(バス検索サイト)、主要バス停等に設置されたデジタルサイネージで提供するバスロケーションシステムを整備  
・H30. 3 奈良市中心部でサービス提供開始  
・H30. 10 JR奈良駅、近鉄奈良駅にバス総合案内システムを設置  
・H30. 12 奈良交通の定期路線バス全線へサービス提供エリア拡大

バスロケーションシステム  
(スマートフォン画面イメージ(奈良バスなびweb))



もっと良くするために

域内移動快適化のためのバス輸送サービスの改善をさらに進めます。

○奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通改善への支援(66百万円)

- ・ノンステップ車両購入への補助
- ・バス停高機能化整備への補助
- ・バスロケーションシステム整備への補助
- ・(新)観光地広域周遊バス実証運行への補助



○地域公共交通の利用環境整備に対して補助(36百万円)

- ・調査検討への補助
- ・バス停上屋、バス停ベンチ、多機能トイレ整備に補助

令和2年度予算案 102百万円

R2予算案 101,720千円

## 1. 連携協定に基づくバス交通支援(65,500千円)

○バス利用促進等を目的とした奈良交通(株)との連携協定に基づく支援

- ① **ノンステップ車両購入**への補助  
＜R2補助対象＞大型バス5台
- ② **バス停高機能化整備**への補助  
＜R2補助対象＞上屋・ベンチなど 2箇所
- ③ **バスロケーションシステム**整備への補助  
＜R2補助対象＞大和西大寺駅(バス総合案内システム)
- ④ **(新)観光地広域周遊バス実証運行**への補助  
＜R2補助対象＞観光地を結ぶ広域周遊バスの実証運行

## 2. 安心して暮らせる地域公共交通の確保(36,220千円)

○市町村等が行う公共交通の効率的な運行への取組等に対し支援

- ① 調査検討への補助
- ② 利用環境の整備等への補助  
＜R2補助対象＞バス停上屋整備、バス停ベンチ整備、多機能トイレ整備等

### <観光地広域周遊バス実証運行の例>



(世界遺産周遊急行バス)

### <バスロケーションシステムの例>



(近鉄奈良駅バス停)



(JR奈良駅バス総合案内システム)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 地域交通課 人見課長補佐(内線4164)

## V 健やかな「都」をつくる

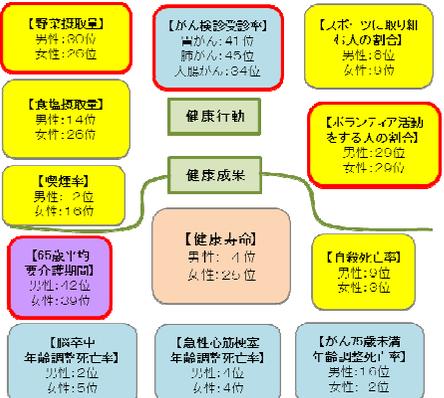
～健康寿命日本一を目標に、高齢者、障害者を含む、  
誰もが健やかに暮らせる地域をつくる～

# V 健やかな「都」をつくる 15 健康寿命日本一を目指した健康づくり

## (86) 健康増進施策の推進

### これまで

「健康寿命日本一」の目標達成を目指して、健康、医療、介護分野の計画を連動させた健康増進の取組を進めてきました。



※順位は望ましい状況からの都道府県順位です。赤枠で囲んだ指標は全国順位が低く、さらに取組を進める必要があります。

R2予算案 103,904千円

健康寿命日本一の達成に向け、分野別の取組を推進するとともに、新たに、各市町村の取組充実に向け、**地域の健康データの収集・分析を行い、市町村ともに対策を検討・実施**

### ① 新市町村の健康課題明確化と取組の支援を強化 (1,300千円)

- ・各種医療・健診等データを分析し、地域別の健康課題を明確化
- ・市町村とともに課題解決に向けた取組策を決定し、その取組を支援することで、県民の健康増進を図る

### ◆分野別の取組

| 取組内容       |   |          |
|------------|---|----------|
| 減塩・野菜摂取    | ②生涯にわたる健全な食生活の実践に向けた食育の推進<br>③スーパーマーケットとの協働による「中食」の減塩・野菜増量（やさしおベジ増しプロジェクト）                                      | 3,054千円  |
| 運動         | ④日常生活の中で手軽に運動・身体活動に取り組むための環境づくり<br>(1) 県健康ステーションの運営、市町村健康ステーション設置支援(桜井市、 <b>新</b> 山添村)<br>(2) 総合型地域スポーツクラブ育成・充実 | 26,322千円 |
| がん検診受診     | ⑤がん検診の推進(受診率及び検診精度の向上)  | 4,996千円  |
| たばこ対策      | ⑥禁煙支援の充実<br>⑦受動喫煙防止に関する普及啓発の強化<br>⑧適切な受動喫煙防止対策に向けた相談支援  | 14,472千円 |
| 自殺対策       | ⑨自殺未遂者への支援など、自殺者数減少に向けた取組の推進(相談窓口の設置・運営、医療機関等との連携体制の構築)(自殺対策に取り組む市町村等の活動に対する支援・助言)                              | 51,432千円 |
| 平均要介護期間の短縮 | ⑩介護予防や生活支援の充実に資する住民運営の通いの場の普及拡大   | 2,328千円  |



### もっと良くするために

健康増進には地域の総合力が必要です。新たに**地域ごとの健康データの収集分析**を行い市町村ともに対策を検討実施します。

#### ○(新)市町村健康課題明確化・取組支援強化事業(1百万円)



#### 分野別の取組を強力に推進します

- 減塩・野菜摂取(3百万円)** ・「やさしおベジ増し」プロジェクトによる中食の減塩野菜増量
- 運動(26百万円)** ・いつでもどこでも誰でも運動の環境づくり
- がん検診(5百万円)** ・受診率、検診精度の向上
- たばこ対策(15百万円)** ・受動喫煙防止
- 自殺対策(52百万円)** ・自殺未遂者等に対する支援
- 要介護期間短縮(2百万円)** ・住民運営の通いの場の普及拡大

令和2年度予算案 104百万円

#### <問い合わせ先>

- ①～④(1) 医療政策局 健康推進課 森田課長補佐(内線3134)
- ④(2) 暮らし創造部 スポーツ振興課 中川課長補佐(内線5272)
- ⑤～⑧ 医療政策局 疾病対策課 井久保課長補佐(内線3133)
- ⑨ // 村田課長補佐(内線3132)
- ⑩ 医療・介護保険局 地域包括ケア推進室 中屋敷室長補佐(内線2853)